

## 視 察 報 告 書

神奈川県が犬猫殺処分「ゼロ」の達成の新聞記事を見た事で、どのように方策をもって達成したのか、呉市に於いても達成可能ではないかとの思いから「神奈川県動物愛護センター」に視察研修してきました。

当センターは、県内の横浜市、川崎市、相模原市、藤沢市、横須賀市を除く28市町を管轄区域としている。

### 「殺処分ゼロの取組み」として

#### 1 収容される犬猫を減らす

- ①その為に飼えなくなった理由の調査と解明
- ②動物ふれあい教室（飼育教室・飼い主教室・しつけ教室）の開催

#### 2 迷い犬猫を飼い主の元に戻す（返還率向上の取組み）

- ①マイクロチップを体内に埋め込む普及事業
- ②マイクロチップを読み取るリーダーの設置場所の公表

#### 3 新しい飼い主を探す

- ①預かった犬猫の訓練
- ②健康チェック
- ③シャンプートリミング

#### 4 譲渡ボランティアへの引き渡し

- ①ボランティアの役割
  - ア 飼育管理，医療ケア，運動訓練
  - イ 飼い主募集
  - ウ 必要経費はボランティアが全額負担

このボランティアの存在なくして、殺処分ゼロは達成しえない。中には一人で80匹も預かっている人がいるとのこと。

#### 5 野良猫や犬は捕獲して去勢し、費用はセンターの負担。

チップを埋め込み識別する。

野良の場合、大体5～6年が寿命でだんだんと数が減っている。

以上の取り組みにより、「ゼロ」が達成できたそうです。

今後の取り組みやセンターのあり方として「処分する施設」から「生かす施設」へと生まれかわり、又著名人の方々に「神奈川県動物愛護推進応援団」となって頂いて啓発活動を活発に行って「ゼロ」を維持していくとのことでした。

呉市では、まだ達成できていませんが、神石高原町がしっかりとした取り組みを行っているようで、早く追いつくよう市民にアピールしていただくよう望むところです。

